

教育研究業績書

2016年10月01日

所属：健康・スポーツ科学科

資格：講師

氏名：田中 美吏

研究分野	研究内容のキーワード
スポーツ心理学、運動の制御と学習	心理的プレッシャー、あがり、ストレス、注意、情動・感情、スランプ、イップス、メンタルトレーニング
学位	最終学歴
博士（学術）	広島大学大学院 生物圏科学研究科 博士課程後期修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. スポーツメンタルトレーニング指導士	2007年4月1日～現在	日本スポーツ心理学会認定
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 新スポーツ心理学	共	2015年9月30日	嵯峨野書院	伊達萬里子（編）・松山博明・田中美吏・三村 覚・高見和至 担当章 第2章スポーツスキルの制御と学習（pp. 10-31） 第3章スポーツスキルの効果的な学習法（pp. 32-57） 第9章スポーツにおける「あがり」（pp. 129-149）
2 学位論文				
1. プレッシャーが運動スキルに及ぼす影響	単	2008年3月		博士論文 広島大学大学院生物圏科学研究科博士課程後期
2. 一過性心理的ストレスがゴルフパッティングに及ぼす影響	単	2005年3月		修士論文 広島大学大学院生物圏科学研究科博士課程前期
3 学術論文				
1. 心理的プレッシャー下における不安定場での立位姿勢制御：下肢筋活動と足圧中心からの評価	共	2016年	体育学研究, 61, 289-300.	研究資料（査読あり） 田中美吏・霜 辰徳・野坂祐介
2. Spinal reflexes during postural control under psychological pressure	単	2015年	Motor Control, 19, 242-249.	Research note（査読あり）
3. Psychological pressure facilitates corticospinal excitability: Motor preparation processes and EMG activity in a choice reaction task	共	2014年	International Journal of Sport and Exercise Psychology, 12, 287-301.	Original article（査読あり） Tanaka, Y., Funase, K., Sekiya, H., Sasaki, J., & Tanaka, Y.M.
4. 大学生スポーツ選手の競技不調時の特徴	共	2013年	近畿大学教養・外国語教育センター紀要（一般教養編）, 3, 73-81.	実践論文（査読あり） 田中ゆふ・藤井純一・田中美吏
5. 投球動作前の確率情報を伴う球種予測に顕在的・潜在的知覚トレーニングが及ぼす影響	共	2013年	スポーツ心理学研究, 40, 109-124.	原著論文（査読あり） 田中ゆふ・関矢寛史・田中美吏 平成26年度日本スポーツ心理学会最優秀論文賞受賞論文
6. Modulation of corticospinal mo	共	2012年	International Journal	Original article（査読あり）

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
tor tract excitability during a fine finger movement under psychological pressure			of Sport and Health Science, 10, 39-49.	Tanaka, Y., Funase, K., Sekiya, H., & Murayama, T.
7. プレッシャーが野球打者の予測スキルに及ぼす影響	共	2012年	近畿大学教養・外国語センター紀要（一般教養編），2，13-22.	原著論文（査読あり） 田中ゆふ・田中美吏・関矢寛史
8. The influence of monetary reward and punishment on psychological, physiological, behavioral, and performance aspects of a golf putting task	共	2011年	Human Movement Science, 30, 1115-1128.	Original article（査読あり） Tanaka, Y. & Sekiya, H.
9. Multiple EMG activity and intracortical inhibition and facilitation during a fine finger movement under pressure	共	2011年	Journal of Motor Behavior, 43, 73-81.	Original article（査読あり） Tanaka, Y., Funase, K., Sekiya, H., Sasaki, J., & Takemoto, T.
10. 障害物回避の見積もり能力に関する発達障害児と健常児の比較	共	2011年	理学療法科学, 26, 105-109.	原著論文（査読あり） 島谷康司・関矢寛史・田中美吏・長谷川正哉・沖貞明
11. Effects of explicit and implicit perceptual training on anticipation skills of baseball batters	共	2011年	Asian Journal of Exercise & Sport Science, 8, 1-15.	Original article（査読あり） Tanaka, Y.M., Sekiya, H., & Tanaka, Y.
12. プレッシャーがボールバウンド課題に及ぼす影響	共	2010年	人間工学, 46, 102-110.	原著論文（査読あり） 田中美吏・山本剛裕・関矢寛史
13. The relationships between psychological/physiological changes and behavioral/performance changes in a golf putting task under pressure	共	2010年	International Journal of Sport and Health Science, 8, 83-94.	Original article（査読あり） Tanaka, Y., & Sekiya, H. 2011年度日本体育学会奨励賞受賞論文
14. Factor analysis of the mechanisms underlying "choking under pressure" in sports	共	2010年	Asian Journal of Exercise & Sport Science, 7, 55-60.	Original article（査読あり） Murayama, T., Sekiya, H., & Tanaka, Y.
15. The influence of audience and monetary reward on putting kinematics of expert and novice golfers	共	2010年	Research Quarterly for Exercise and Sport, 81, 416-424.	Original article（査読あり） Tanaka, Y. & Sekiya, H.
16. スポーツにおける「あがり」の原因帰属と性格の関係	共	2009年	人間科学研究（広島大学大学院総合科学研究科紀要I），4，1-9.	原著論文（査読あり） 木村展久・村山孝之・田中美吏・関矢寛史
17. 「あがり」の発現機序の質的研究	共	2009年	体育学研究, 54, 263-277.	原著論文（査読あり） 村山孝之・田中美吏・関矢寛史 2010年度日本体育学会奨励賞受賞論文
18. Postural control of children with developmental disorders	共	2009年	Journal of Physical Therapy Science. 21, 7-11.	Original article（査読あり） Shimatani, K., Sekiya, H., Tanaka, Y., Hasegawa, M. & Oki, S.
19. プレッシャーが全身協応運動に及ぼす影響	共	2009年	スポーツ心理学研究, 36, 103-114.	原著論文（査読あり） 田中美吏・瓜本健助・村山孝之・関矢寛史 2010年度日本スポーツ心理学会優秀論文奨励賞受賞論文
20. くぐり動作における身体接触の実証的研究—発達障害児は物にぶつかることが多い—	共	2008年	理学療法科学, 23, 721-725.	原著論文（査読あり） 島谷康司・田中美吏・金井秀作・大塚 彰・沖 貞明・関矢寛史
21. Do children with developmental disorders have low gross motor abilities?: A comparison with normal children, using motor ability tests for young children	共	2008年	Current Pediatric Research, 13, 9-12.	Original article（査読あり） Shimatani, K., Tanaka, Y., Hasegawa, M., Oki, S., & Sekiya, H.
22. 注意の変化およびプレッシャーが知覚運動スキルの流暢性に及ぼす影響	共	2007年	人間科学研究（広島大学大学院総合科学研究科紀要I），2，71-80.	原著論文（査読あり） 坂本佑次・田中美吏・関矢寛史
23. 時間切迫が運動スキルの遂行に及ぼす影響	共	2007年	体育学研究, 52, 443-451.	原著論文（査読あり） 村山孝之・田中美吏・菅井若菜・関矢寛史
24. ゴルフ競技におけるポジティブおよびネガティブ感情とパフォーマンスの関係	共	2007年	人間科学研究（広島大学大学院総合科学研究科紀要I），2，93-99.	原著論文（査読あり） 田中美吏・関矢寛史
25. パートナーと運動課題を行うときの対人ストレスが運動スキルに及ぼす影響	共	2007年	広島体育学研究, 33, 33-41.	原著論文（査読あり） 田中美吏・関矢寛史
26. 一過性心理的ストレスがゴルフパッティングに及ぼす影響	共	2006年	スポーツ心理学研究, 33(2), 1-18.	原著論文（査読あり） 田中美吏・関矢寛史

その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
1. 心理的プレッシャーとスポーツパフォーマンス—運動制御からの理解—	単	2015年8月26日	第66回日本体育学会体育心理学領域キーノートレクチャー（国士舘大学、東京）	
2. 学会発表				
1. Increased corticospinal excitability and muscular activity in a lower limb reaction task under psychological pressure	共	2015年6月4日	NASPSPA (North American Society for the Psychology of Sport and Physical Activity) 2015 conference (Portland, OR, USA)	Poster presentation Yoshifumi Tanaka and Tatsunori Shimo
2. 心理的プレッシャー下における運動制御機能—姿勢制御や対処法の研究—	単	2015年5月30日	平成27年度第1回関西体育心理例会（近畿大学、大阪）	口頭発表
3. 心的動揺に対する姿勢制御機能	共	2015年3月2日	第23回運動学習研究会（琉球大学、沖縄）	口頭発表 田中美吏・霜 辰徳・野坂祐介・関屋昂樹・島谷康司
3. 総説				
1. 心理的プレッシャー下におけるゴルフパッティング：症状と対処に関する実験研究	単	2014年	体育学研究, 59, 1-15	査読あり
2. “あがり”とフラインモーターコントロール	共	2011年	バイオメカニクス研究, 15, 167-173.	吉江路子・田中美吏・村山孝之・工藤和俊・関矢寛史
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. エンデュランストレーニングの科学—持久力向上のための理論と実践—	共	2015年8月2日	有限会社ナップ (NAP Limited)	翻訳書 第20章持久力の心理学, pp. 177-187 第22章健康のための持久力トレーニング, pp. 201-208を担当 長谷川 博 (監訳) 長谷川 博・中村大輔・安松幹展・桜井智野風・久保啓太郎・瀬屋光男・伊藤静夫・相澤勝治・鬼塚純玲・田中美吏・安藤創一・加藤晴康 (訳者一覧)
2. リカバリーの科学—スポーツパフォーマンス向上のための最新情報—	共	2014年9月15日	有限会社ナップ (NAP Limited)	翻訳書 第5章リカバリーの心理学, pp. 49-58を担当 長谷川 博・山本利春 (監訳) 長谷川 博・山本利春・桜井智野風・中村大輔・田中美吏・山口太一・安松幹展・鬼塚純玲・依田珠江・笠原政志・太田千尋 (訳者一覧)
3. 福井県スポーツ選手の競技不安について	共	2014年	平成25年度福井県スポーツ選手の健康・心理・栄養面における実態について (報告)	報告書 田中美吏・勝木豊成
4. 福井県スポーツ選手の競技不安について	共	2013年	平成24年度福井県スポーツ選手の健康・心理・栄養面における実態について (報告), 15-29.	報告書 勝木豊成・田中美吏
5. 脊髄反射運動制御機構に対する感情および注意の影響	単	2013年	財) ミズノスポーツ振興財団2012年度スポーツ科学等研究助成報告書.	研究成果報告書 公開外部URL http://www.mizuno.co.jp/zaidan/ikagaku/josei_2010.aspx
6. プレッシャー下における運動制御の神経生理学的検討	単	2011年	(財) ミズノスポーツ振興財団2009年度スポーツ科学等研究助成報告書	研究成果報告書 公開外部URL http://www.mizuno.co.jp/zaidan/ikagaku/josei_2000.aspx
7. スポーツユニットにおける教育の現状と課題	単	2010年	人間環境科学 (帝塚山大学人間環境科学研究所紀要), 19, 103-115	報告書
8. 心理的プレッシャーによってなぜ運動パフォーマンスが低下するか?—認知的側面と行動的側面の影響—	共	2008年	ヤマハ発動機スポーツ振興財団 (YMF S) チャレンジ研究助成報告書	研究成果報告書 田中美吏・三木ゆふ・村山孝之・三宅浩亮
6. 研究費の取得状況				
1. 心理的プレッシャー下における身体運動—力動的知覚とのインタラクション—	共	2016年4月現在	科学研究費補助金・基盤研究 (C)	研究代表者 連携研究者: 村山孝之氏 (金沢大学)・田中ゆふ氏 (近畿大学)・五藤佳奈氏 (武庫川女子大学) 直接経費370万円、間接経費111万円
2. 心的動揺に対する運動制御機能—姿勢制御機能と皮質脊髄路の興奮性の精緻な解明—	単	2013年4月20日～16年3月	科学研究費補助金・若手研究 (B)	研究代表者 直接経費340万円、間接経費102万円
3. 脊髄反射運動制御機構に対する感情および注意の影響	単	2012年4月～2013年3月	財団法人ミズノスポーツ振興会2012年度ス	研究代表者 助成金額100万円

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
6. 研究費の取得状況				
4. 心的動揺に対する運動制御機構— 脊髄反射回路の解明と非侵襲的脳 刺激の導入—	単	2011年6月～ 2013年3月	—ツ科学等研究助成 科学研究費補助金・若 手研究 (B)	研究代表者 直接経費350万円、間接経費105万円
5. プレッシャー下における運動制御 の神経生理学的検討	単	2009年4月～ 2010年3月	財団法人ミズノスポ ーツ振興会2009年度スポ ーツ科学等研究助成	研究代表者 助成金額100万円
6. 心理的プレッシャーによってなぜ 運動パフォーマンスが低下するか ?—認知的側面と行動的側面の影 響—	共	2007年4月～ 2008年3月	ヤマハ発動機スポーツ 振興財団 (YMF S) チャレンジ研究助成	田中美吏 (研究代表者) ・三木ゆふ・村山孝之・三 宅浩亮 助成金額110万円

学会及び社会における活動等

年月日	事項